

科目名	金融機関論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			経済学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	Financial Institution	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	のぐち ひでゆき	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	野口 秀行	実施方法	□ 対面のみ □ 遠隔のみ ■ 対面・遠隔併用	
授業概要	金融機関の情報生産活動に注目し、情報の非対称性に起因する金融機関の本質的な役割を学びます。あらたにフィンテック法についても学びます。			
到達目標	金融機関の主要な役割は資金供給と同時に情報生産活動にある。この情報生産の側面を学習し、金融機関の役割を社会的な視点から理解できるようになることを期待します。			
授業のテーマ	金融機関の社会的な役割を、情報生産の観点から学習します。			
授業計画	講義資料と教科書を併用して授業を進める。			
第1回	金融システム改革の行方～所謂金融ビッグバンの歴史と今後の展望			
第2回	日本の金融機関の現状～青森銀行及びみちのく銀行の経営統合			
第3回	資産運用立国へ～日本経済の変貌と意識変化を促す金融政策			
第4回	日経平均株価4万円時代とバブル経済崩壊			
第5回	世界的な金融再編とは 暗号資産 FRB コモディティ市場			
第6回	バブル崩壊に関するシャドーバンキングシステムと中国の地方融資平台 (LGFV)			
第7回	世界の金融市場の変貌 金融市場の新たなプレーヤーとAI			
第8回	金融市場のもう一つの潮流～ESG投資・サステナブル金融			
第9回	金融業界のDXの課題と解決策～DX実現のためのデジタル技術			
第10回	リーマンショック後の金融市場を再度確認する～世界の金融市場の変容			
第11回	リフレ政策と為替介入と為替操作～日銀の政策転換 (ゼロ金利政策 マイナス金利政策 YCCの終焉)			
第12回	ビッグバンと地域金融機関の再編とメインバンク～地域経済の今後を左右する地域金融機関の力量が試される			
第13回	暗号資産・CBDC (中央銀行発行デジタル通貨)			
第14回	フィンテックとは今後の金融の新たな担い手としてその現状と課題			
第15回	フィンテック法の施行と地方金融の今後の展開予想			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	予習復習の徹底、ポータルサイトに目を通しておくこと			
履修条件 受講のルール	なし。			
テキスト	レジュメをポータルサイトにアップ ダウンロードして授業に使用 PC必携			
参考文献・資料	追って連絡します			
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。			
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日			
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)			
実務経験及び実務を活かした授業内容	日本政策投資銀行とのネットワークを活かした最新の情報を提供する。			
学生へのメッセージ	グリーン債券やサステナブルリンクローンなど地方金融機関の進むべき道があります。			